



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL https://www.koashoji-hd.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	8,558	16.3	1,593	75.6	1,643	80.4	1,126	81.9
2020年6月期第2四半期	7,361	9.2	907	152.9	911	140.9	618	323.1

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 1,112百万円 (75.8%) 2020年6月期第2四半期 632百万円 (332.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	56.84	—
2020年6月期第2四半期	31.25	—

(注) 1. 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	23,496	15,690	66.8
2020年6月期	22,902	14,915	65.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 15,690百万円 2020年6月期 14,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2021年6月期	—	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2020年11月6日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っているため、2021年6月期（予想）の1株当たり年間配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年6月期（予想）の1株当たり期末配当金額は34円00銭となり、1株当たり年間配当金は34円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	6.0	2,400	3.0	2,400	1.4	1,700	△2.6	85.82

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2021年6月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	19,809,990株	2020年6月期	19,809,990株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	656株	2020年6月期	580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	19,809,347株	2020年6月期2Q	19,809,430株

（注）当社は、2020年11月6日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大から回復の兆しがあったものの、再び感染が拡大傾向になりつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

後発医薬品業界におきましては、2025年には5人に1人が75歳以上になるという「2025年問題」を控え、「経済財政運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society 5.0』への挑戦～」(骨太方針2019)において、「後発医薬品の使用促進について、安定供給や品質の更なる信頼性確保を図りつつ、2020年9月までの後発医薬品使用割合80%の実現に向け、インセンティブ強化も含めて引き続き取り組む。」と明記されており、日本ジェネリック製薬協会の分析によれば、2020年度第2四半期(2020年7月～9月)のジェネリック医薬品使用割合は78.9%(速報値)となり80%が間近に迫ってきております。その一方で、2019年10月には消費税率引上げに伴う薬価改定、2020年4月に通常の薬価改定と、短期間に薬価改定が実施され、さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2020」(骨太方針2020)において、「本年の薬価調査を踏まえて行う2021年度の薬価改定については、骨太方針2018等の内容に新型コロナウイルス感染症による影響も勘案して、十分に検討し、決定する。」とされ、価格の引下げ圧力が増すなど厳しさも見えてきております。

このような事業環境の中で、当社グループは、事業理念“New Business Model Innovation”に基づき、ジェネリック医薬品原薬の輸入商社と、注射剤中心の医療用医薬品の製造販売機能を併せもつビジネスモデルで、高品質で安価な原薬を日本市場に安定的に供給するとともに、自社開発品の製造・販売や大手医薬品メーカーからの製造受託を通じて、医薬品業界における多様なニーズに対応しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による当第2四半期連結累計期間の業績への影響は軽微なものでありました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,558百万円(前年同期比16.3%増)、営業利益1,593百万円(前年同期比75.6%増)、経常利益1,643百万円(前年同期比80.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,126百万円(前年同期比81.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、抗生物質製剤用原薬等の販売が減少したものの、循環器官用薬や中枢神経系用薬向け原薬の販売の増加等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,118百万円(前年同期比15.9%増)、セグメント利益は1,117百万円(前年同期比25.9%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高831百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造が引き続き堅調に推移したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,271百万円(前年同期比30.8%増)、セグメント利益は484百万円(前年同期比668.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は23,496百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加632百万円、商品及び製品の増加151百万円、受取手形及び売掛金の増加110百万円があった一方で、減価償却実施による機械装置及び運搬具(純額)の減少126百万円、電子記録債権の減少95百万円、減価償却実施による建物及び構築物(純額)の減少88百万円等があったことによるものであります。

負債は7,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ181百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加233百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加54百万円、電子記録債務の増加44百万円があった一方で、長期借入金の減少191百万円、未払消費税等を含む流動負債のその他の減少176百万円、未払法人税等の減少134百万円等があったことによるものであります。

純資産は15,690百万円となり、前連結会計年度末と比べ775百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,126百万円の計上による増加があった一方、配当金支払により336百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.7ポイント増加し、66.8%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ619百万円増加し、6,050百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,178百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加額185百万円、法人税等の支払額592百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益1,643百万円、減価償却費283百万円、仕入債務の増加額278百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は70百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出71百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は481百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出136百万円、配当金の支払額336百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の連結業績予想につきましては、2020年8月12日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,071,921	6,704,713
受取手形及び売掛金	4,760,756	4,871,726
電子記録債権	2,346,048	2,250,479
商品及び製品	1,478,404	1,630,363
仕掛品	202,886	202,514
原材料及び貯蔵品	303,739	340,287
その他	140,530	151,938
貸倒引当金	△526	—
流動資産合計	15,303,761	16,152,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,746,419	4,755,799
減価償却累計額	△1,770,882	△1,869,200
建物及び構築物(純額)	2,975,536	2,886,598
機械装置及び運搬具	3,427,795	3,439,663
減価償却累計額	△1,230,761	△1,369,462
機械装置及び運搬具(純額)	2,197,033	2,070,200
工具、器具及び備品	1,102,660	1,135,944
減価償却累計額	△936,763	△959,855
工具、器具及び備品(純額)	165,896	176,089
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	1,473	53,802
有形固定資産合計	7,101,714	6,948,464
無形固定資産		
その他	96,705	85,202
無形固定資産合計	96,705	85,202
投資その他の資産		
投資有価証券	96,219	72,525
繰延税金資産	260,562	200,303
退職給付に係る資産	28,346	25,121
その他	15,167	12,845
投資その他の資産合計	400,295	310,796
固定資産合計	7,598,714	7,344,464
資産合計	22,902,476	23,496,486

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,446,111	1,680,027
電子記録債務	567,010	611,921
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	321,332	376,284
未払法人税等	607,757	473,040
賞与引当金	51,042	33,371
その他	778,163	601,911
流動負債合計	4,621,416	4,626,556
固定負債		
長期借入金	3,024,344	2,832,726
繰延税金負債	17,712	6,521
役員退職慰労引当金	98,187	104,207
退職給付に係る負債	121,448	123,683
その他	103,803	111,947
固定負債合計	3,365,496	3,179,086
負債合計	7,986,912	7,805,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	14,157,429	14,946,702
自己株式	△305	△376
株主資本合計	14,885,229	15,674,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,094	16,485
繰延ヘッジ損益	1,239	△73
その他の包括利益累計額合計	30,334	16,411
純資産合計	14,915,563	15,690,843
負債純資産合計	22,902,476	23,496,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	7,361,559	8,558,918
売上原価	5,259,625	5,886,447
売上総利益	2,101,934	2,672,471
販売費及び一般管理費	1,194,830	1,079,221
営業利益	907,103	1,593,249
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,206	2,129
為替差益	—	24,561
有価証券売却益	—	6,973
受取手数料	5,616	10,006
補助金収入	7,566	6,518
受取補償金	4,490	9,601
その他	1,849	2,780
営業外収益合計	21,730	62,570
営業外費用		
支払利息	13,623	12,355
為替差損	2,191	—
その他	1,930	215
営業外費用合計	17,744	12,570
経常利益	911,089	1,643,249
特別利益		
販売権譲渡益	36,591	—
特別利益合計	36,591	—
税金等調整前四半期純利益	947,680	1,643,249
法人税、住民税及び事業税	330,364	461,623
法人税等調整額	△1,646	55,592
法人税等合計	328,718	517,216
四半期純利益	618,962	1,126,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	618,962	1,126,033

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	618,962	1,126,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,980	△12,609
繰延ヘッジ損益	2,817	△1,313
その他の包括利益合計	13,797	△13,922
四半期包括利益	632,760	1,112,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	632,760	1,112,110

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	947,680	1,643,249
減価償却費	258,378	283,232
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,150	△526
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,202	△17,670
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,431	6,020
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,628	3,224
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,924	2,234
受取利息及び受取配当金	△2,206	△2,129
支払利息	13,623	12,355
補助金収入	△7,566	△7,538
販売権譲渡益	△36,591	—
為替差損益(△は益)	△3,779	5,562
固定資産除売却損益(△は益)	780	△64
売上債権の増減額(△は増加)	775,524	△15,400
たな卸資産の増減額(△は増加)	△408,602	△185,646
仕入債務の増減額(△は減少)	△298,371	278,827
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,973
未収入金の増減額(△は増加)	63,207	△54,131
その他	△74,816	△215,039
小計	1,203,635	1,729,588
利息及び配当金の受取額	2,206	4,192
利息の支払額	△13,951	△11,024
補助金の受取額	7,885	7,857
法人税等の支払額	△326,738	△592,158
販売権譲渡に係る対価の受取額	36,591	—
法人税等の還付額	263,227	39,654
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172,856	1,178,109
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	15,770
固定資産の取得による支出	△455,360	△71,256
固定資産の売却による収入	—	115
定期預金の預入による支出	△72,465	△113,576
定期預金の払戻による収入	57,463	100,573
その他	△2,758	△2,592
投資活動によるキャッシュ・フロー	△473,121	△70,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△118,966	△136,666
自己株式の取得による支出	△12	△70
配当金の支払額	△237,141	△336,287
その他	△8,383	△8,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,503	△481,793
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,779	△5,562
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339,010	619,788
現金及び現金同等物の期首残高	4,255,887	5,430,414
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,594,897	6,050,202

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,860,219	2,501,340	7,361,559	—	7,361,559
セグメント間の内部売上高 又は振替高	418,001	—	418,001	△418,001	—
計	5,278,220	2,501,340	7,779,561	△418,001	7,361,559
セグメント利益	887,770	63,041	950,811	△43,708	907,103

(注) 1. セグメント利益の調整額△43,708千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,287,247	3,271,671	8,558,918	—	8,558,918
セグメント間の内部売上高 又は振替高	831,584	—	831,584	△831,584	—
計	6,118,832	3,271,671	9,390,503	△831,584	8,558,918
セグメント利益	1,117,407	484,566	1,601,973	△8,724	1,593,249

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,724千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。